

ターゲットとする学生

働くことに不安や心配を感じつつも、これまで積極的に自ら情報収集を行うまでの行動が十分できていない学生

実習のテーマ

テーマに沿った企業を選定、学生は興味のあるテーマを複数選択し、実習を行う。

（テーマ例）

<オンリーワン企業>

- ・ 特色ある技術・事業
- ・ ものづくり企業
- ・ 食を支える企業
- ・ BtoB企業 等

<キャリア支援企業>

- ・ 若手が活躍する企業
- ・ 人材育成に熱心な企業
- ・ 多様な働き方を実現している企業 等

<地域と共に歩む企業>

- ・ 地域資源活用企業
- ・ 地域を牽引する企業
- ・ 地域の企業や人を支える企業 等

<世界とつながる企業>

- ・ 海外顧客をもつ企業
- ・ 海外拠点をもつ企業
- ・ グローバルな事業領域を展開する企業 等

※R5は実習先企業の数に限られるため、設定可能なテーマから実施する。

今後のスケジュール

11月	12月	1月	2月	3月
第3回 検討会議 (書面開催)	第4回 検討会議	受講生募集	プログラム実施	
プログラム準備	プログラムの承認	プログラム実施準備	事前学習	事後学習
			企業実習	総括

日数	初日	2日目～4日目・5日目			最終日
項目	事前学習	実 習			事後学習
目的	自分らしく働くことへの考え方や心構えを養う	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に働く社会人の姿に触れ、学生それぞれの勤労観や職業観を育てる ・県内企業の取組や事業内容の理解を深めることで、県内で働くことへのイメージを膨らませる 			振り返り、今後の自身のキャリアを考える
実施形態	動画視聴（1、2） オンライン（3）	全部で実習期間が3日以上になるように、実習先企業を選択			対面形式
内容	1 ガイダンス 《事務局》 2 講義 ・社会で働くことの理解と意識醸成 《静大 宇賀田教授》 ・参加者に期待すること 《大学関係者》 《企業》 ・1、2年生において学ぶべきこと 《調整中》 3 目標・課題の設定 （オンラインでのグループワーク） 《静大 宇賀田教授》	< 1日実習企業例 > 【1日目】 ・ <u>目標の共有</u> ・企業説明・見学 ・ジョブシャドウ ・社員との交流会 ・ <u>振り返り、成果の共有</u> 下線は必須とする。 その他は企業の状況によって、組み替えることもあり得る。	< 2日間実習企業例 > 【1日目】 ・ <u>目標の共有</u> ・企業説明・見学 ・ジョブシャドウ、就業体験 【2日目】 ・企業独自の取組 ・社員との交流会 ・ <u>振り返り、成果の共有</u>	< 3日間実習企業例 > 【1日目】 ・ <u>目標の共有</u> ・企業説明・見学 ・ジョブシャドウ、就業体験 【2日目】 ・ジョブシャドウ、就業体験 ・企業独自の取組 【3日目】 ・社員との交流会 ・ <u>振り返り、成果の共有</u>	1 振り返り 2 成果の発表・共有 3 参加者へのフィードバック 4 まとめ 《静大 宇賀田教授》
		企業における実習内容は、受入期間ごとにテンプレート化			